

MFYニュース2013年度 後期号

発行 2014年3月 (社)青少年音楽協会

青少年音楽協会会員の皆様へ

次々と降る全国的な豪雪に、東京でも道端にかき寄せられた雪が2月の終わりまで残っていました。

3月末になり急に気温が上昇し、東京の桜が満開のときを迎えました。

会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

異常気象続きの今年度でしたが皆様のご支援により、青少年音楽協会ですべてのコンサートも全て無事に終えることができましたことを感謝いたします。

一つ一つのコンサートを振り返り、写真と共にご報告いたします。

MFY 理事・職員一同

《教育的コンサート》インターナショナルスクールの子どものためのバレエ

『Delightful Folk Story of the World』〔世界の民話〕

10月9日(水) 10:30 - 11:30 国立オリンピック記念青少年総合センター小ホール

☆世界には素敵な民話がたくさんありますが、その中から次の3つの国のお話のバレエが上演されました。

振付・構成・ナレーション：雑賀淑子 出演：サイガバレエ、山路バレエほか

《Coppelia》Poland

☆『コッペリア』ポーランドの小さな村のお話です。

コッペリウスという人形作りのおじいさんが作った可愛いお人形のコッペリアと、村の青年フランツとその婚約者のスワニルダの物語です。ドリーブの美しい音楽で踊られる楽しいバレエです。



スワニルダのお友達



コッペリウス：雑賀淑子

フランツ：宮崎康臣

スワニルダ：伊藤友里絵

《La Sylphide》Scotland

☆『ラ・シルフィード』はスコットランドの森の中で、村の青年と妖精が恋をする物語です。

ロシア人ダンサーのアナトーリ・スタヴロフを招き、青年と妖精のうっとりするような美しいバレエを見せてくれました。



妖精：ウタコ

青年：アナトーリ・スタヴロフ



《MOMOTARO》Japan

☆『桃太郎』日本の民話でお馴染みの桃太郎のお話がバレエになりました。琵琶の語りに乗せて桃太郎が生まれ、犬、猿、雉をお供に鬼ヶ島に向かいます。太鼓と笛の伴奏で鬼退治が始まりました。とても日本的でリズムカルで楽しい舞台でした。



桃太郎：関あゆみ

猿：伊藤友里絵

雉：永井絵麻

犬：高橋あや穂

琵琶：雑賀淑子

《チャペルリサイタル》

『第65回チャペルリサイタル』

10月19日(土) 15:00 日本福音ルーテル東京教会

☆新大久保の賑やかな街の一角に建つ日本福音ルーテル東京教会でチャペルリサイタルが行われました。毎回、若い出演者の皆さんの頑張っている姿に感動しますが、今回ソプラノ独唱をされた橋本夏季さんは、6年前の2007年秋のチャペルリサイタルで、まだ芸大の1年生のときにこの教会で歌われていたことが分かりました。そのときの透き通るような声でモーツァルトのアレレヤを歌っていた様子が思い出されます。今回一段と進歩した姿をヘンデルの「メサイア」の曲で聴かせてくれたことに感動し、チャペルリサイタルが長く続いてきたことの意義を考えさせられました。特別出演の長澤晴浩さんのピアノ独奏は、いつものことながら暖かく豊かな音色と表現力に魅了されます。



クラリネット独奏
：市中洸太郎



ソプラノ独唱：中畑友里
ピアノ伴奏：岩城美智子先生



ソプラノ独唱：橋本夏季
ピアノ伴奏：奥千歌子



ピアノ独奏：近山朱里



ピアノ独奏：長澤晴浩

バレエ《くるみわり人形》

11月21日(木) 17:00/19:15 ルーテル市ヶ谷センター

☆今年は少し早めのクリスマスとなりましたが、この美しいホールにこだわると、1年前の予約受付の日に並んでも希望の日を取るのには毎年大変なことなのです。この良いホールで「くるみわり人形」を続けていきたいと頑張っています。例年通り生の演奏により楽しい舞台となりました。夕方の部と夜の部と両方観ると、出演者が変わる部分もあり、それに合った異なった個性的な演出がなされていたのも興味深いことでした。

第2部は昨年と同じ秋田勇魚さんのクラシックギターの妙技でクリスマスの作品を聴かせていただきました。

＜構成・振付＞

雑賀淑子
＜器楽演奏＞
ピアノ／福田一雄
フルート／保坂真弓
ハープ／金淵洋子

＜出演＞

時田ひとし
宮崎康臣
大谷けい子
小泉高峰
ウタコ
小島直子
桑原麻実
関あゆみ
伊藤友里絵
奈良陽子
角園侑希
竹原利恵
中山凜香
木室陽一
雑賀淑子
サイガバレエジュニア部
ほか



クラシックギター
秋田勇魚



アラビアの踊り：夕方の部↑
夜の部→



《東京若葉キリスト教会の献堂式》

☆四ツ谷駅のすぐ近く、学習院初等科もそばに建つ静かな場所に小さな教会があります。

その東京若葉キリスト教会の献堂式が2013年12月7日にありました。この場所には木造の趣のある古い教会堂が建っていましたが、2011年の東日本大震災の影響を受け使用できなくなってしまったのです。

そしてこの日新しく建て替えられた教会堂の献堂式が行われました。

青少年音楽協会から、三石精一会長と理事の雑賀淑子、照屋美和子、三石純子が出席いたしました。明るく可愛らしい教会が出来ていました。



～W.D.カニングハム夫妻と東京若葉キリスト教会～

E.カニングハム女史の両親のW.D.カニングハム夫妻は、大変熱心なクリスチャンで、父のカニングハム氏は急性灰白髄炎（ポリオ）にかかり体が不自由であったにも拘らず自分が宣教師として召されていることを確信し、1901年9月に来日しました。

長女エロイーズの2才のときでした。

現在の新宿区若葉一丁目のこの地で伝道を始め、1903年東京若葉キリスト教会を設立しました。その後の日本での働きもとても精力的で、東京近郊に多くの教会を設立しましたが、この教会がカニングハム夫妻にとって最初の教会であり、当時の「キリストの教会」の中心的な存在となりました。



～エロイーズ・カニングハムと東京若葉キリスト教会～

秋川溪谷の近くにある秋川霊園の小高い丘の上の墓地に、東京若葉キリスト教会のお墓があります。

そのお墓にエロイーズ・カニングハム女史とその母が眠っているのです。

今も、青少年音楽協会と深い繋がりのある教会なのです。



《クリスマスサロンコンサート》

12月25日(水) 14:00 MFYサロン

☆恒例のE.カニングハム女史とその母を偲ぶクリスマスサロンコンサートが行われました。

器楽アンサンブルの柔らかい響きがサロンを包み、温かい平和な気持ちのクリスマスを過ごしました。そして「みんなで平和を作ろう」という世界のいろいろな国の“平和”という言葉の入った歌を全員で歌いました。

<出演者>

ヴァイオリン：三田 悠 河向來実

チェロ：長屋利沙

コントラバス：野澤 司

ピアノ：古澤幹子

クラリネット：古澤裕治

